

教育コミュニティづくり通信

平成 30 年 8 月 27 日

平成 30 年 8 月 27 日、大阪府立藤井寺支援学校を訪問しました。日頃から様々な活動をしていただいている地域の方々に学校を招いて陶芸教室を開催しました。感謝の気持ちを表すとともに、学校と地域の交流の機会にもなっています。

学校と地域の交流活動

藤井寺支援学校では、地域の方々が、環境整備や学校行事支援、学習支援等、様々な分野で、子どもたちの教育活動や教育環境の充実に、ご活躍いただいています。



そして、日頃の感謝の意味を込めて、毎年夏休み中に、地域の方々に学校を招いて交流会を開催しています。地域の方々にニーズを聞き、実施する内容を決めています。これまでパソコン教室なども行いました。近年は、陶芸教室を実施しています。みなさん、毎年とても楽しみにしておられるそうです。

陶芸の粘土をこねるのは非常に力のいる作業ですので、先生方が事前に粘土をこねて柔らかくして、すぐに作品づくりに取り組むことができるように準備されていたり、当日もたくさんの先生が教室にいられていました。

地域の方々は、熱心に作品を作られる中、先生方と楽しくお話されたり、素敵な交流の場面がたくさん見られました。

地域の方にお話を聞くと「先生方が、この日のために丁寧な準備をしてくださっていて、とてもありがたいです」「みなさんとともに

の会を楽しみにしています」とおっしゃっていました。

また、このような交流会の他にも、防災訓練の様子を地域の方が見学できるなど、地域の方々に、学校や子どもたちについて知っていただく機会を積極的に設定されています。

様々な支援で子どもたちを応援

環境整備ボランティアとして、校門前の花壇の植えかえや、随時の手入れを行ってくださっています。四季折々に花々が美しく咲き、子どもたちはもちろんですが、地域の皆さんも楽しまれています。

学校行事の際には、駐車場誘導係もしていただき、先生方が子どもたちに関わることでできる環境を作っていただいています。

学習支援活動としては、毎月 1 回、地域ボランティアの方々による大型絵本や紙芝居、人形等を使った読み聞かせを行い、子どもたちは毎回楽しみにしています。

また、直接的な活動以外にも、例えば、土曜日に学校の門があいていたり、車が止まっていると、気にかけてくださるといったお話を聞き、地域のみなさんが、藤井寺支援学校を自分たちの地域の学校という気持ちで思っておられることを強く感じました。

放課後ゲンキフレンズ

外部の専門家や教員が講師になって様々な活動を行っています。昨年度は 5 回実施しました。手品やバスケットボール、ポッチャ、調理等、毎回趣向をこらしたプログラムで、子どもたちは元気に楽しく取り組んでいます。

